

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：環境管理費 目：環境管理推進費

事業名【新】中部山岳国立公園施設整備事業費（備品等整備分）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

環境生活部 環境生活政策課 中部山岳国立公園活性化推進係

電話番号：058-272-1111(内2926)

E-mail：c11260@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 21,505千円（前年度予算額： 0千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	21,505	0	0	0	0	0	7,144	0	14,361
決定額	17,418	0	0	0	0	0	5,652	0	11,766

2 要 求 内 容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

平成29年度に、活性化の基本方針となる「岐阜県中部山岳国立公園活性化基本構想」「岐阜県中部山岳国立公園活性化基本計画」を策定し、これらにおいて、同公園に関する情報の集約・発信や環境教育等の拠点となる総合的な利用拠点（ビジターセンター）の整備を目指すこととした。

平成30年度から、県、高山市及び地元関係団体と「岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会」を設立し、地元と連携して本地域の魅力造成や発信の取組を行うとともに、来訪者の利便性向上等を図るビジターセンターの在り方等を検討し、整備の方向性を固めた。

令和2年度に基本構想・基本計画をまとめ、令和3～4年度に基本設計・実施設計を実施しており、施設整備に向けて着実に事業を推進している。

（2）事業内容

令和6年度からの施設供用開始に向け、必要となる備品等の整備を実施。

（3）県負担・補助率の考え方

県有施設であることから、必要な備品等は県費で整備。

（4）類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	57	業務旅費
需用費	5,217	消耗品費（事務用イス、キャビネット等）
備品購入費	16,231	映像放映機器、家具等
合計	21,505	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略（Ⅲ－5 「まちをつなぐ」）
岐阜県中部山岳国立公園活性化基本構想（平成29年7月策定）
岐阜県中部山岳国立公園活性化基本計画（平成29年12月策定）

(2) 国・他県の状況

国（環境省）

：国立公園満喫プロジェクト（平成28年度～）

平成28年、国立公園満喫プロジェクトの対象8公園に準じる公園とされた。

(3) 後年度の財政負担

・令和6年度以降は維持管理費（指定管理料）が継続的に発生する見込み。

(4) 事業主体及びその妥当性

事業主体：県

・既存の県有施設のリニューアルを図るものであるため妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

中部山岳国立公園に関する情報の集約・発信や環境教育等の拠点となる総合的な利用拠点（ビジターセンター）の整備を行い、令和6年度を目標にリニューアルオープンする。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

本事業は施設の再整備事業であり、数値目標の設定ができない。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>ビジターセンターに必要な機能等を基本構想・基本計画にまとめた。 高山市の奥飛騨温泉郷活性化基本構想との連携により、周辺施設などと一体的に機能を果たすことが可能となる。</p> <p>指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %</p>
令和3年度	<p>基本設計・実施設計を実施。</p> <p>指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %</p>
令和4年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価) 2	<p>国は、国立公園満喫プロジェクトにおいて、利用者受入れのための基盤整備としてビジターセンターの利用案内機能の強化と他施設との連携促進を取組方針の1つに掲げており、当該施策に沿った事業である。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 高山市の奥飛騨温泉郷活性化基本構想に基づく駐車場整備計画等との調整
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 検討過程で得られた意見や要望等を踏まえ、総合的な利用拠点に相応しい再整備を行う。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	